



国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区B

## 市原ロータリークラブ会報

第2436 回例会 2014 年 1 月 22 日(水)

SAA(司会) / 千葉会員 会報担当 / 篠田会員

事務局 五井グランドホテル 市原市五井 5584-1 TEL.0438-38-3535 例会場 五井グランドホテル 市原市五井 5584-1



ENGAGE ROTARY  
CHANGE LIVES

- 点 鐘 市原 RC 会長 泉水孝夫
- ソング それこそロータリー
- お客様 本日はごさいません
- 会長挨拶 市原 RC 会長 泉水孝夫



皆さんこんにちは。本日は、来週移動例会が予定されて居ります、高尾山薬王院について、お話したいと思います。正式名称は「高尾山薬王院有喜寺」今から1260余年前の天平16年(744)に聖武天皇の勅令により東国鎮守の祈願寺として、高僧行基菩薩により開山されました。薬王院の名は創建当初、薬師如来をご本尊とした事に由来します。現在は真言宗智山派の大本山として「成田山新勝寺」「川崎大師平間寺」「高尾山薬王院」が三大本山として知られて居ります。この、高尾山薬王院で今年度行われます「市原RC創立50周年行事」の成功祈願を行いたいと考えて居ります。ご協力よろしく願います。

### ●幹事報告

①第37回RYLAセミナー開催案内及び参加ロータリアン・青少年のご推薦について、地区より依頼がありました。日時は平成26年2月22日(土)～23日(日)1泊2日、場所は幕張セミナーハウス、参加者は各ロータリークラブ1名以上の義務出席、青少年は各ロータリークラブ推薦の男子1名、女子1名の計2名(16～30歳)です。社会奉仕委員会を中心に参加会員、推薦青少年を御紹介頂けます様、お願い致します。

②来週1/30に移動例会として、高尾山『薬王院』にて初詣、その後新宿の『CADET山田屋』にて新年会を行います。多くの会員皆様のご参加をお待ちしています。

### ●本日のメインプログラム 会員卓話 宮武会員

皆さん、こんにちは。弁護士宮武です。

本日は、卓話の機会をいただきありがとうございます。私は、昨年2月に入会させていただきましたので、もう少して1年が経ちます。

今日は、何を話そうか色々考えていたのですが、最初の卓話ということもあり、私という人間を少しでも知ってもらうために自己紹介をしたいと思います。

#### 1.生まれてから大学まで

まず、生まれですが、私は、昭和42年1月、香川県普通寺市で生まれました。実家はもともと農家で、中学くらいまで、田植や稲刈り等の農作業の手伝いをしていました。小学時代は軟式野球とバスケットボールをしていました。野球は、県大会で優勝しましたが、バスケットボールは、身長が高くなかったので、あまり強くはなかったです。

中学校は地元中学ではなく、隣の丸亀市にある私立の大手前中学に行きました。私立の中学に行ったのは、その当時の地元の中学校が荒れていたのと、1歳違いの兄が大手前中学に行っていたという理由からでした。



中高の6年間片道10キロの道を毎日自転車で通っていたのですが、そのおかげでそれなりの体力が付いたと思います。中学は野球部に入っていました。大手前中学は運動部に力を入れておらず、対外試合もなかったため、野球は中学でやめました。そして、高校に進学して、柔道部に入り、初段までは取得しました。

ちなみに、高校1年のときは身長は156センチ程度でクラスでも前の方でしたが、高校3年のときに178センチまで伸びて、クラスで高い方から3番目くらいになりました。

勉強に関しては、私は、数学や物理が得意だったので、どちらかというと理系の方が向いていたのかもしれませんが、高校進学の際に、理系の方が授業時間が多いという理由で文系を選んだように思います。そして、大学進学にあたり、その当時は、法律よりも経済学部の方が役に立ちそうに思い、大阪大学の経済学部に進学しました。

もともと、大学に入学したら、当初の思いとは異なり、あまり勉強せず、クラブ活動中心のよくなる大学生になりました。当時の大阪大学の経済学部には、竹中平蔵助教や中谷巖教授ら、その後の小泉政権の時代に活躍した著名な先生方がいて、今から思うと、もっと経済を勉強しておけばよかったなと思いました。クラブに関しては、私は、大学では、少林寺拳法部に入部しました。

少林寺拳法を選んだ理由は、もともと少林寺拳法の発祥の地が、地元香川県多度津町で知っていたということと、高校時代に柔道をしていたので、大学では突き蹴りのある武道をしたいと思っていたからです。1年で一緒に入部したのは30人近くいましたが、最後まで残ったのは6人しかいませんでした。少林寺拳法は大学時代に3段を取得し、3年生の時は、主将をつとめました。個人的には、少林寺拳法は自分に合っていたのだと思いますが、楽しいクラブ生活を送ることができました。

#### 2.リクルート時代

就職にあたっては、当時は、バブル時代でもあり、就職に困っていませんでしたが、あまり人と同じ所には行きたくないと思い、当時あまり知られていないリクルートに行くことにしました。

入社動機は、会ったリクルーターが魅力的だったということと、給料が良かったということや、仕事がおもしろそうということでした。内定もらった後、あのリクルート事件が起きて、超有名企業になってしまいましたが、私が内定もらったときは、リクルートといっても親は全く知りませんでした。入社した後の配属は、最初は横浜、その後新宿、四国支社、栃木県、最後に本社で勤務しました。

リクルートでの仕事は、主に大学生の新卒採用のためのリクルートブックという情報誌の広告を取る営業でした。先輩の営業の人のまねをして、毎日100件以上の電話かけや、ビルのローラー営業、飛び込み営業もしていました。

しかも営業は、情報誌の広告の営業で、見本誌を持ち歩くため、大きな営業鞆に、見本誌を入れた紙袋を持ち歩いたりしていましたので、やはり体力はつきました。ただ、私は、リクルートに入社したときから、定年まで勤める気はなく、いつかは独立しようと思っていました。リクルートに入社してくる人は、そういう考

えの人が多く、実際、多くの人が独立していました。ですから、同期達と飲んだりするときは、いつやめて独立するかという話をよくしていました。ただ、私は、独立するにしても、リクルートで10年は働いてからにしようと思っていましたので、入社後10年経った、平成12年にリクルートを退職しました。

### 3.司法試験受験

会社を辞めた後、私は弁護士を目指して勉強を始めたのですが、私が弁護士を目指した動機は、弁護士が会社という組織ではなく、個人のできる仕事であること、定年なく働けること、困っている人を助けることができ、感謝される仕事だということなどから、弁護士という仕事をしてみたいと思いました。当然、難しい試験であるということは知っていましたが、経済学部出身で、法律の勉強をしていなかったことから、あまり深く考えず、数年勉強すればなんとかなるのではないかといい気持ちで勉強を始めました。

もっとも、妻や親には司法試験を受けるからといって、無職での生活を続けていたので、最後はかなりプレッシャーがかかりましたが、運良く合格することができました。

### 4.司法修習生時代

司法試験に合格すると、司法修習を受けることになります。司法修習とは、法曹の実務家になるための勉強と、裁判官、検察官、弁護士の実務を学ぶ期間です。埼玉県の和光市に司法研修所があり、そこで最初の3か月と終わりの3か月を座学で勉強し、真ん中の1年間を裁判所、検察庁、法律事務所ですごします。私の司法修習期間は1年6月ありました。検察修習では、実際に被疑者を取り調べたりもしました。修習のおかげで、裁判官がどうやって仕事をしているのか、検察官の取り調べがどのように行われているのかを知ることができたので、弁護士になった後でも修習での経験がとても役に立っています。あと、法曹資格を取るには、修習の最後に、刑事弁護、民事弁護、検察、刑事裁判、民事裁判の各起案(書面作成)を1科目6時間かけて5日間に渡って行う試験があります。いわゆる2回試験と呼ばれるものです。

この2回試験に合格しないと、弁護士になることができませんので、必至に勉強してなんとかその2回試験にも合格して、やっと弁護士になることができました。

### 5.弁護士時代

私は、千葉市に住んでいたため、千葉で弁護士登録することにしました。最初は、居候弁護士として市内の法律事務所に勤務していましたが、基本的な事務所運営のやり方を勉強して、平成23年4月に蘇我法律事務所を作って独立しました。

これまで手がけた事件は、相続の遺産分割、遺留分減殺、遺言書作成、離婚、養育費請求、請負工事関係の損害賠償請求、交通事故損害賠償請求、不動産売買契約締結、賃貸借契約書等の契約書類作成、不動産賃料請求、労働事件、不動産明渡し請求、債務整理や個人破産の破産申立て、過払い請求、刑事弁護関係、高齢者の成年後見人の申立、後見人業務等、民事、家事、刑事を満遍なく行っています。

それ以外にも、講習会での講演や消費生活相談員に向けた勉強会、弁護士会の住宅専門家相談、消費者被害にあった人たちの弁護団に加入しての活動をしています。さらに、千葉県弁護士会の建築相談協議会推進委員会、刑事弁護センター、住宅紛争審査会委員会、消費者問題委員会等に所属してそれらの委員会活動をしています。ちなみに、よく専門は何かと聞かれるのですが、特にこれが専門ですというものはなく、通常の民事事件、家事事件、刑事事件を行うということになります。ただ、通常の事件であれば、たいいてい事件は対応できますので、まずはご相談下さい。

この点、日弁連でも、平成23年に、専門分野登録弁護士制度の導入を検討しましたが、何を以てその分野の専門弁護士といえるのか客観的基準がないとの意見もあり、未だ、その制度は導入されていません。

6.最後に私の考え方の根本についてお話ししたいと思います。

まず、人間万事塞翁が馬です。何か困難なこと、嫌なことがあっても、そのことが将来良い結果に結びつくかもしれないようにしています。また、良くないことが起こった場合は、人のせいせず、自業自得として、自分がやることをやっていなかったことを反省するようにしています。

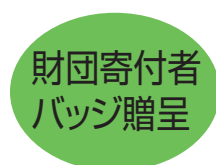
次に、少林寺拳法をしていた時に知った言葉ですが、「半ばは自己の幸せを、半ばは他人(ひと)の幸せを」というのがあります。これは、少林寺拳法の創始者の宗道臣の言葉です。私は、この言葉を「人の幸せを願うには、まず自分自身が幸せでなければならない。

自分が幸せであるように努力し、その上で、自分だけでなく、半分は他人のために行動するということが大事である。」と理解しています。なかなか半分も他人の幸せのために行動することは難しいですが、そういう気持ちを持つことは大事だし、そういう行動ができるために自分自身をしっかりすることが大事だと思っています。

そして、リクルートの時に知った言葉で、「自ら機会を創り出し、機会によって自らを変えよ」というのがあります。未だにリクルートOBの人でこの言葉を大事にしている人が大勢いると聞いています。私は、この言葉を「人生を能動的に生きること、常に向上心をもってチャレンジしていくことを求めた言葉と理解しています。環境の変化に合わせて自分を変化させることができること自体すごいことだと思いますが、更に、その環境を自ら変化させた上で、自分自身をそれに合わせて変化させるというのですから、それはもう大変なことだと思います。

今も目にとまるところにおいて、その言葉を見るたびに、自ら機会を創り出しているか、その機会を生かし、変化しているかということ意識していますが、実際には、なかなかできていない気がします。私は、ロータリーに入会したので、これからは、ロータリーの理念も加えて日々の生活を送りたいと考えています。以上、まとまりのない話をしてしまいましたが、私という人間について少しでもご理解いただいて、これからも仲良くしていただければ幸いです。

本日はどうもありがとうございました。



## ●ニコニコ・ソーリー

### 宮武淳会員

ご静聴ありがとうございました。今回は、法律業界の裏話でも出来ればと思います。宜しくお願い致します。

### 藤谷泰弘会員・千葉精春会員

宮武さん卓話ありがとうございました。例会出席率高く感謝申し上げます。

### 泉水会長・篠田幹事

宮武会員には、本日、自己紹介を兼ねた卓話を頂きありがとうございました。今後、市原RCでの益々のご活躍を期待致します。

## ●出席報告

前々回確定 76.19% 本日出席者 27名  
本日欠席者 18名 本日出席率 61.37%

●点 鐘 市原 RC 会長 泉水孝夫